

# Manufacturing Tech & HardTech

マニファクチャリングテック & ハードテックコース

## 募集要項

Phase1 応募締め切り：2026年5月24日(日) 23:59 (JST)

Phase2 応募締め切り：2026年7月15日(水) 23:59 (JST)



## INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成・内容
- 03 | スケジュール
- 04 | アクセラレーター（メンター）
- 05 | エントリー
- 06 | 問合せ先

## 目的

北米市場理解、イベント参加、デモデイ実施を通じて顧客開拓、投資家との接点拡大を目指す。米国市場における顧客獲得、実証、事業化を目指す。

## マイルストーン分類

Explorer (Phase1) / Scaler (Phase2)

## コースの特徴

1

製造業における深い知見・広いネットワークを持つアクセラレーター

2

北米の製造市場、産業技術領域のイノベーション関連知識習得

3

米国中西部での潜在顧客・販売拠点・販売チャネル・投資家の開拓

## 渡航先

デトロイト（米国）※Phase2のみ

## 募集対象

対象企業

日本国内に所在するスタートアップ

ステージ

【Phase1】：プレシードー～シリーズA  
【Phase2】：シリーズA～レイター

分野

ハードテック、先進製造、モビリティ、電動化、  
自動システム、先進材料、IoT、AIハードウェア、デュアルユース



本コースは、独立した2つのプログラム(Phase1~2)で構成されています。  
Phase1・2どのフェーズからでも応募は可能です。詳細は P.12-13の「05 | エントリー – 選考プロセス」をご参照ください。

### 1 【Phase1/Phase2】 国内Bootcamp※1



#### 米国製造業理解・ ニーズ把握・事業戦略構築

参加企業の状況とニーズを踏まえ、アクセラレーターとの1-1メンタリングやグループディスカッションを実施する。米国製造業市場への理解を深め、米国で売れる・採用される事業の型をつくる。

※1：プログラムの実施内容・形式等は変更になる可能性があります。

### 2 【Phase1/Phase2】 オンラインセッション※1



#### レクチャー・メンタリング ・商談機会提供

レクチャーやメンタリングを通じて、スタートアップの成長に必要な事業開発、事業拡大戦略について学び、顧客理解を深める。

### 3 【Phase2】デトロイト渡航・ 長期滞在支援※1



#### 現地イベント参加 商談・デモデイ

米国中西部のイベント参加、個社の商談マッチング、プロダクト・技術の現地対応支援などを提供。潜在顧客・投資家の開拓を行い、米国で最初のトラクション（PoC・実証・LOI等）を創出する。現地で長期活動を希望する企業には、滞在拠点を提供。

### 4 【Phase2】 オンラインフォローアップ※1



#### メンタリング・ フォローアップ

メンターとの面談、現地で形成したコネクションのフォローアップなどを通じて、渡航セッションでの収穫を成果に結びつける。

### 1

### 【Phase1/Phase2】国内Bootcamp | 米国製造業理解・ニーズ把握・事業戦略構築

参加企業の状況とニーズを踏まえ、アクセラレーターとの1-1メンタリングやグループディスカッションを実施する。  
米国製造業市場への理解を深め、米国で売れる・採用される事業の型をつくる。

#### 日程・場所

【Phase1】 6月29日(月)～7月1日(水) 東京 (日本)  
【Phase2】 8月26日(水)～8月28日(金) 東京 (日本)

#### 定員

【Phase1】 8～10社  
【Phase2】 3～5社

#### 概要

- Centrepolis Acceleratorのメンターと参加企業との顔合わせ
- 各スタートアップの製品・ステージ・バリュープロポジションへの理解を深める1-1メンタリング
- メンターと参加企業とのグループディスカッションなど

### 2 【Phase1/Phase2】オンラインセッション | レクチャー・メンタリング・商談機会提供

レクチャーやメンタリングを通じて、スタートアップの成長に必要な事業開発、事業拡大戦略について学び、顧客理解を深める。  
またオンラインで個別企業のニーズに応じた商談機会を提供し、現地渡航に備える。

日程・場所	【Phase1】 6月後半～8月後半 オンライン 【Phase2】 8月後半～9月後半 オンライン
定員	【Phase1】 8~10社 【Phase2】 3~5社
概要	オンラインレクチャー例 <ul style="list-style-type: none"><li>- バリュー・プロポジションの洗練</li><li>- 顧客発掘・顧客開拓</li><li>- Go-To-Market戦略</li><li>- 事業開発 &amp; パイプライン開発</li><li>- エンタープライズ・テック成長戦略</li><li>- 資金調達戦略</li></ul> 個別企業への商談機会提供

### 3 【Phase2】デトロイト渡航・長期滞在支援 | 現地イベント参加・商談・デモデイ

米国中西部のイベント参加、個社の商談マッチング、プロダクト・技術の現地対応支援などを提供。  
潜在顧客・投資家の開拓を行い、米国で最初のトラクション（PoC・実証・LOI等）を創出する。  
現地で長期活動を希望する企業には、滞在拠点を提供。

#### 日程・場所

9月21日(月)～9月25日(金) 米国（デトロイト）  
9月下旬～11月下旬 米国（デトロイト） ※希望者のみ

#### 定員

3～5社

#### 概要

- 米国現地での個別商談・マッチング
- 製品・技術の現地適応支援、ミシガン拠点（Landing Pad）利用
- 展示会・業界イベント参加
- 投資家・企業向けDemo Day

### 4 【Phase2】オンラインフォローアップ | メンタリング・フォローアップ

メンターとの面談、現地で形成したコネクションのフォローアップなどを通じて、渡航セッションでの収穫を成果に結びつける。

日程・場所 10月以降 オンライン

#### 概要

#### リードフォローアップ

- 現地渡航を踏まえたメンターとのミーティング
- 今後の課題について洗い出し
- 現地で獲得したコネクションの継続フォロー支援



### 5

### 昨年度コース参加企業の声



アクセラ講師も製造業出身で、製造業の顧客やパートナーに密接につながっており、強いサポートを得られた。ソリューションについて掘り下げ方が業界目線で具体的だった。  
また参加したスタートアップ同士でのコネクション構築ができたことも大きな収穫だった。  
(2024年度 参加企業の声)



現地で訪問したNewLab Detroitは、ハードウェアスタートアップ支援に特化したユニークな拠点で印象的でした。  
デモを展示できる空間や、内部でエンジニアサポート・工作施設があること、企業・大学・行政が連携して支援する仕組みなど、日本では見られない施設でした。  
(2025年度 参加企業の声)



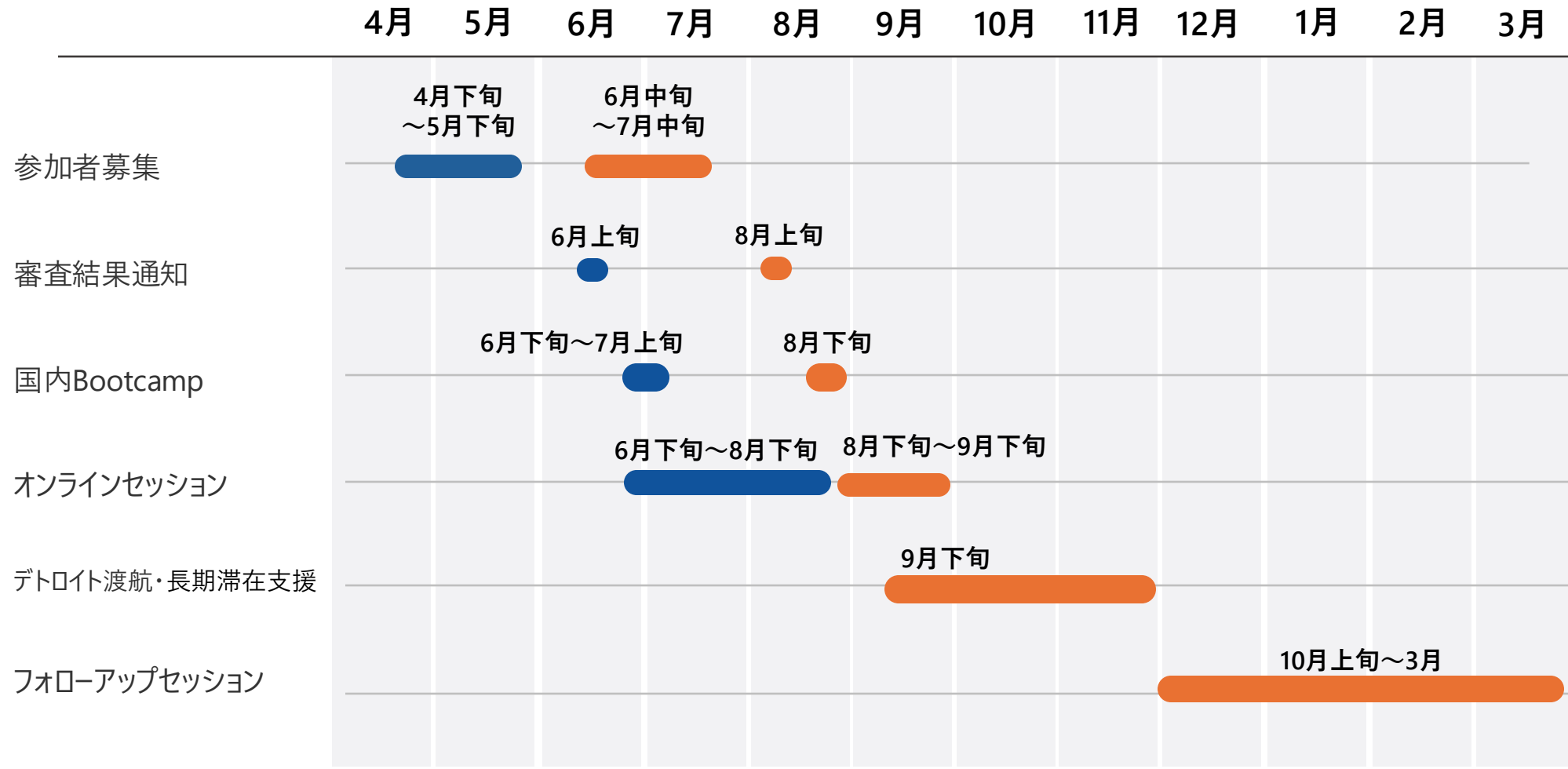
アクセラから「現地企業は、日本企業が現地ビジネスに本気で取り組む姿勢を重視している」との助言を受けた。  
このアドバイスを踏まえ、当社は米国市場への継続的な展開に取り組んでいる。  
(2024年度 参加企業の声)



メンターからのフィードバックは、日本の一般的なサポートに比べても有益だった。例えば、買い手側の視点を持っていること、産業領域に精通していること、実務に即した具体的なアドバイスをくれること。  
自社ビジネスのポジショニングや事業戦略を見直すことができた。  
(2025年度 参加企業の声)





[2025年度プログラムの様子はこちら \(Note記事\)](#)

# 3 SCHEDULE | スケジュール



Phase1のスケジュール  
Phase2のスケジュール



-  ハードテック業界において、幅広い経験とネットワークを有するメンバー
-  600社以上のスタートアップを支援し、80社以上の企業パートナーと連携
-  製造業実務をバックグラウンドに持つ50名以上のエキスパートが在籍
-  年間500万ドル以上の開発・実証向け資金を運用し、スタートアップを支援

## Centrepolis Accelerator

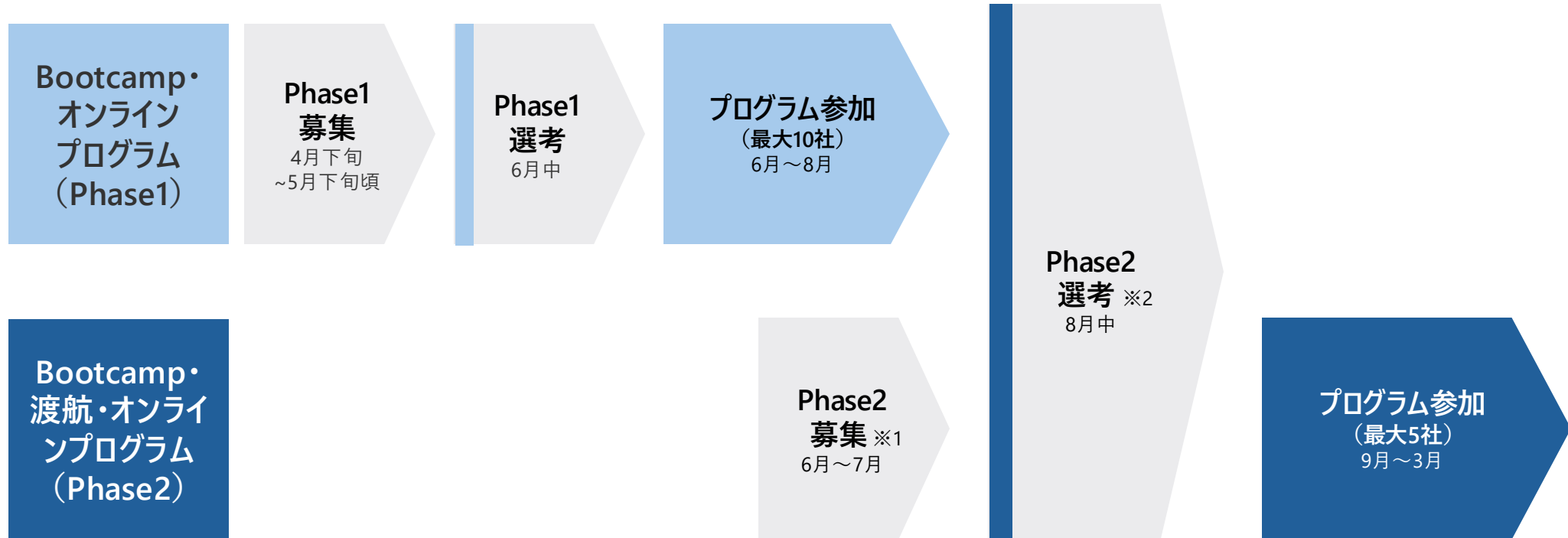
<https://www.centrepolisaccelerator.com/>

米国ミシガン州に拠点を置く、製造業・ハードテック分野に特化したアクセラレーター。Lawrence Technological University内に拠点を構え、Ford、GM、Stellantis等のOEMやTier1企業との強固なネットワークを活かし、スタートアップのPoC・実証・事業化を支援している。

エンジニアリング、プロトタイピング、製品ロードマップの作成において深い技術的専門知識を有し、技術のコンセプトを商用化に展開させる支援に長けている。

### 著名な連携企業



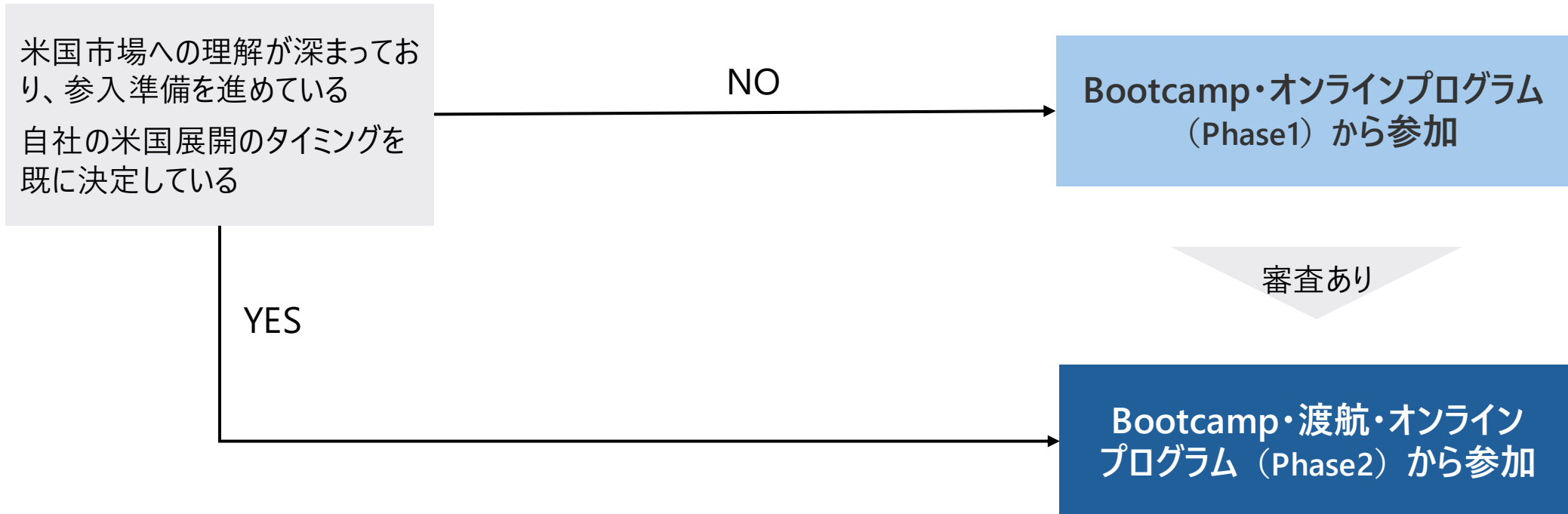


※1：Phase1への応募・参加をせずに、Phase2からの応募・参加も可能です。

※2：Phase1のプログラムに参加している企業がPhase2への参加を希望する場合は、参加しているプログラム内で審査を実施します。

### 参加プログラムの選択

本コースは、2つのプログラム（Phase）に分かれており、参加企業の状況に応じて、プログラムの途中参加が可能です。下記の質問を参考に、自社がどの状況にあり、どのフェーズから参加をするのが良いかを検討の上、応募をお願いします。



## 応募要件

- 1～6のすべての要件を満たし、注意事項について同意していること
1. 日本国内に所在するスタートアップ企業
  2. 海外での事業展開や資金調達を検討している
  3. 商談可能な英語力を有する（取締役、海外展開責任者）
  4. 海外展開について意思決定権をお持ちの方（取締役、海外展開責任者）が参加可能
  5. [ご利用条件](#)、[オンライン・プログラムご利用条件](#)に同意いただき、本コースに関わる全てのプログラムに参加できること
  6. 参加後のアンケート等に協力いただけること  
※本プログラムは内閣府・JETROが連携して行うプロジェクトであり、随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します。
  7. 応募は、1社につき最大2コースまで可能とします。また、2つのコースに同時採択・参加できるのは、AI CTOコースを含む場合に限りです。その場合は、各コースに専任の担当者を1名ずつ配置する必要があります。

### 【Phase2から参加の場合】

7. 上記1～6の条件を満たし、且つ、**自社製品における米国の市場展開戦略ができており、リソース・資金共に投資ができる企業**

※Phase2は別途募集をいたします。

## 審査基準

エントリーフォーム・ピッチ資料を基に、アクセラレーター・ジェトロによる審査を行います。採択審査にあたり、アクセラレーターと面談が発生する可能性があります。その際は追ってご連絡をいたします。なお、企業選考についてのお問い合わせは一切お答えできません。

1. チームメンバーの専門性・ネットワーク、語学力
2. プロダクト、技術、サービスの成長性・市場性
3. 本コースとプロダクトや事業計画との親和性
4. JETROが実施するその他のプログラムの参加状況、申込内容、海外展開の目的や状態を踏まえて、参加意義が認められること ※次ページに詳細

※第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市（13拠点都市）に本社機能を置くスタートアップ企業は加点いたします

## 注意事項

過去にStartup City Acceleration Program、Global Startup Acceleration Programに参加した企業も応募可能です。

## 選考基準としての、適切なコース選定

参加企業が最大限の成果を得られるよう、適切なコース選定とプログラム参加の目的性を重視しています。スタートアップが複数のアクセラレーションプログラムを目的なく連続的に受講することは、必ずしも事業のスケールにつながらず、貴重な時間・リソースの分散を招いた事例があります。スタートアップにとって時間は最も重要なリソースであることを踏まえ、以下の点をご理解のうえ応募をご検討ください。

### ■ プログラム選定にあたっての基本的な考え方

自社が現在達成したい目的から逆算したプログラム選定を強く推奨します。

海外展開に向けたニーズは企業によって異なり、

- 海外でのPMFの検証
- Go To Market Strategy の精緻化
- 初期の海外トラクション獲得
- 海外ネットワークの構築

など、目的に応じて最適なプログラムは大きく異なります。

### ■ 応募前の相談推奨

JETRO Startupチームは、皆さまの事業ステージや目指したい方向性に応じて、最適なプログラム選択をサポートします。

- 今年度すでに他のアクセラレーションプログラムに採択されている方は、応募前にJETRO Startupメンバー（スタートアップ課）へご相談ください。
- まだ採択されていない方でも、どのコースが適切か迷う場合には遠慮なくご相談ください。

### JETRO負担

---

- プログラム参加費

### 企業負担

---

- 現地渡航費、宿泊費、米国での移動費、通信費、飲食費等
- ESTAやVISA、海外保険等、米国渡航にかかる費用
- 国内移動費・宿泊費等
- プログラム受講にかかる通信費
- その他「JETRO負担」以外のすべての費用

応募フォームを提出してエントリーしてください

【申込締切】

**応募**

(Application Form)

応募フォームは  
[こちらから](#)

**5月24日(日)**

**23:59(日本時間)**

◆ 英語ピッチ資料 ※以下項目を含め、PPT/PDFで10枚程度にまとめてご提出ください

✓ プロダクト/サービス (解決する課題とそのソリューション)

✓ 過去の実績と今後の展望/事業計画

✓ ビジネスモデル/市場規模/競合優位性

✓ チーム (創業者・経営者のLinkedIn情報も盛り込んでください)

\* 事業運営のため、ご提供いただく情報を内閣府や経済産業省、連携アクセラレーターに提供します。予めご了承ください

【コース選択でお悩みの方へ】

**相談申請フォーム**

どのコースに参加すべきかお悩みの方に対して、ジェトロ側の担当よりご相談を30分程度お受けするサービスをご提供します  
※本サービス活用有無は選考には一切関係ございません。また、ご応募数により締切を設ける可能性があります

# CONTACT

お問い合わせ

企業名 ジェトロ イノベーション部 スタートアップ課

担当者 園田・田口・林田

メール [su-support@jetro.go.jp](mailto:su-support@jetro.go.jp)

所在地 〒107-6006  
東京都港区赤坂1-12-32  
アーク森ビル7階

